

十分でなかったこと

地域における景観の理解
重要文化的景観保護制度の浸透
価値を活かした流域連携



きっかけと枠組みはできたが
理解や浸透は見切り発車



整備活用計画の目的

2

なじませる時間として

組織に必要な時間（整備活用計画での関わりで）
地域に必要な時間（普及啓発や調査事業で）



試行錯誤するための道標

環境、歴史、利活用等について蓄積が必要
やれば良いことはたくさんある
アプローチがつながりを持つように



整備活用計画の作成

3

文化的景観 | 変わり方を考える文化財



考え続ける必要性 | 誰が考えるのか

考え続ける体制づくり


チーム作りから

- 選定時にできなかったチーム作り
- 景観形成に関わる分野は多様
- 孤軍奮闘しない



17

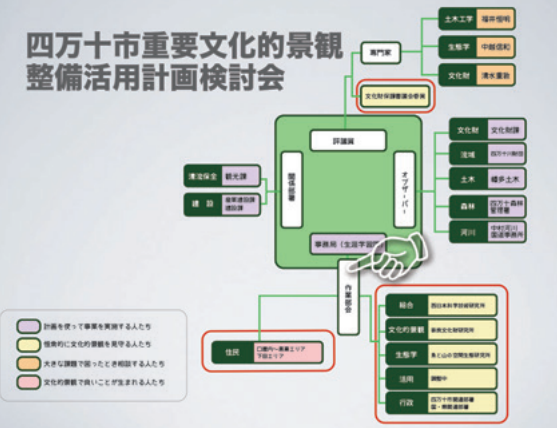
目標は、
『**四万十のことは四万十で考える**』



より地域に近いところで景観形成の方向性を考えられるようになりたい。

18

四万十市重要文化的景観整備活用計画検討会



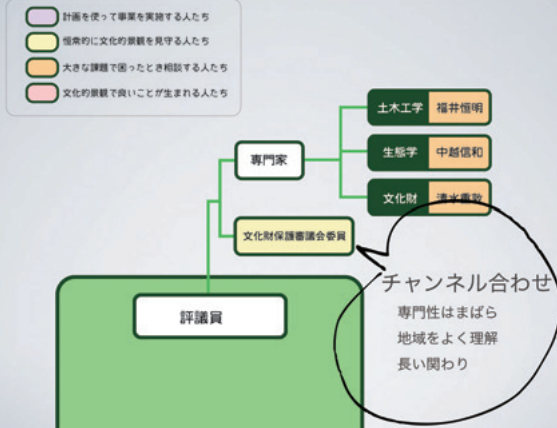
計画を使って事業を実施する人たち
 日常的に文化的景観を見守る人たち
 大きな課題で困ったとき相談する人たち
 文化的景観で良いことが生まれる人たち

19

整備活用計画作成の体制
検討会と作業部会



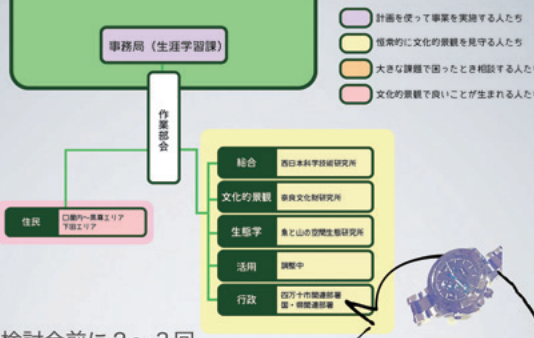
20



計画を使って事業を実施する人たち
 日常的に文化的景観を見守る人たち
 大きな課題で困ったとき相談する人たち
 文化的景観で良いことが生まれる人たち

チャンネル合わせ
専門性はまばら
地域をよく理解
長い関わり

21



計画を使って事業を実施する人たち
 日常的に文化的景観を見守る人たち
 大きな課題で困ったとき相談する人たち
 文化的景観で良いことが生まれる人たち

・ 検討会前に2~3回
 ・ 言いたいことを言っておく

『組織に必要な時間』
 専門家は少し(?)我慢
 効果は徐々に

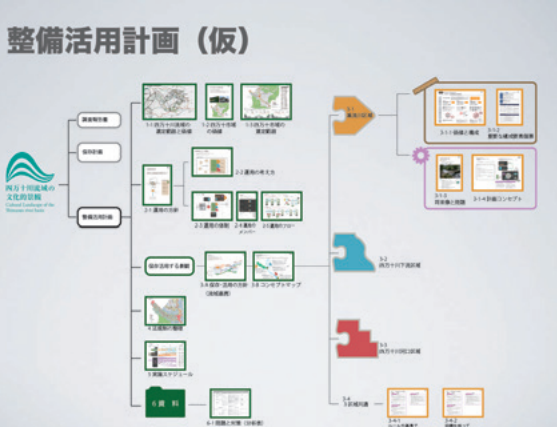
22

整備活用計画の概要

- エリアごとの特徴を活かす
- ある程度の早さも必要。考えを蓄積する仕組み

23

整備活用計画 (仮)



24

エリアごとの個性を活かす
地域の特質に沿った計画づくり

オーダーメイド

何を守るか？
 どう後押しするか？
 何が効果的か？
 必要とされているか？
 どう進めればよいか？

やってみる 『じっくりくるカタチ探し』

41

黒尊地区 ～文化的景観を活かすコンセプト～

『情報収集を学びに変えるしくみづくり』

【緑化のための学び】
緑化の推進
環境教育の推進
環境教育の推進

【導入するための素材】
環境教育の推進
環境教育の推進
【効果の方法・評価】

【情報の集まりに学ぶためのプログラム】

黒尊地域の人たち

参加者や協力者

プラットフォームの強化

42

くろそん手帖

観光や学びのための軸足の位置

黒尊のおんちゃん × デザイナー = くろそん手帖



45

地図とコンテンツを分離

地域のスピードにパンフレットを合わせる

くろそん手帖

46

ツアーを実施中

くろそん手帖手描き散歩
5回/年
コミュニケーションツールとして

47

「名前覚えられるくらいで」

数で勝負するイベントにはしないつもり。
関係を作るためのツアーに。
教える人と教わる人は交代OK。

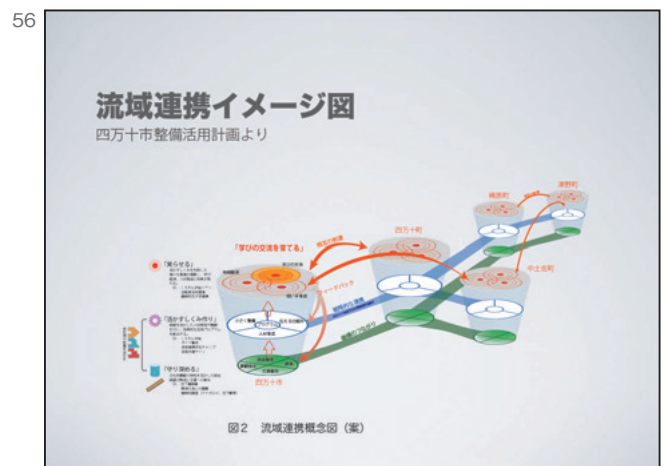
48

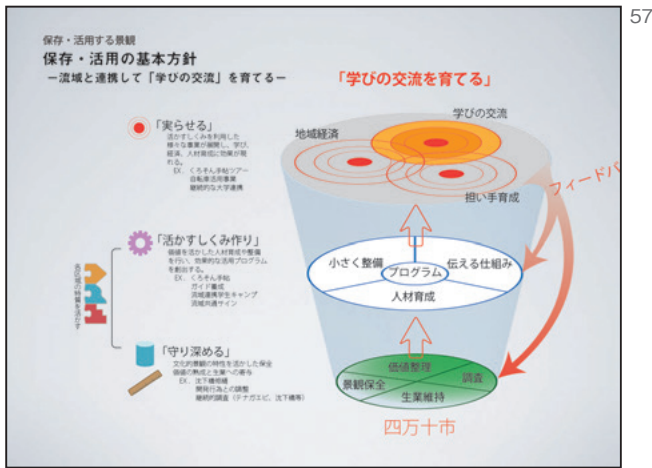
楽しい、オモシロイ、あなただけの
「くろそん手帖」を見せてください

くろそん手帖 展覧会

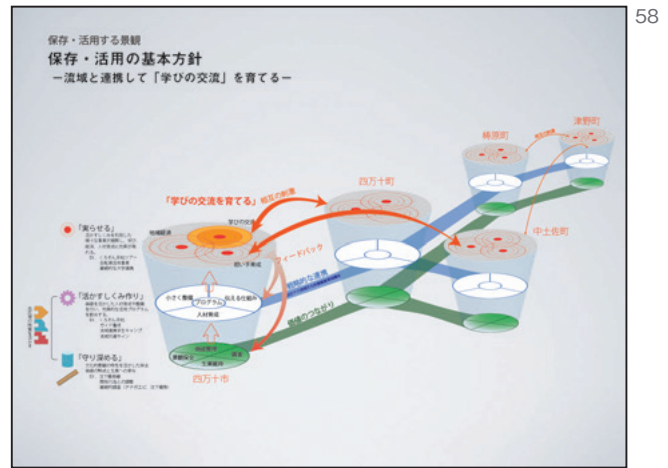
展覧会も開催

使い方の工夫を集めてみる
地域の知識を見るカタチに
来てくれた人の楽しかったこと





57



58

文景協 四万十川流域文化的景観連絡協議会

H18.10.10設立
事務局 公益財団法人 四万十川財団

重要文化的景観選定の作業組織

選定後は利活用のための作業組織

59

やってきたこと
流域連携の実績

12 重要文化的景観として選定

H20	文化マップ作成 四万十川流域で選定された重要文化的景観のマップを作成	流域保存計画作成 四万十川流域で選定された重要文化的景観の保存計画を作成	選定記念シンポジウム開催 重要文化的景観のシンポジウムを開催
H21	景観ロゴ作成 流域のロゴを作成	景観サイン設計 流域サインの設計と実装作業を作成	景観サイン設置 流域サインの設置作業を実施
H22	選定記念シンポジウム 選定記念シンポジウムを開催して、選定された重要文化的景観のシンポジウム	選定記念シンポジウム 選定記念シンポジウムを開催して、選定された重要文化的景観のシンポジウム	テレビ番組制作 重要文化的景観のテレビ番組の制作
H23	暮らしなまつり事業 四万十川暮らしなまつり事業へ協力	景観活用ハルホ制作 イベントの景観活用	DVD制作 重要文化的景観のDVD制作

60

脱タイミング合わせ
掛けあわせできる活用へ

大学生 × 文化景観 = 学生キャンプ

61

流域連携学生キャンプ
文化的景観の入り口として

その後の展開
長期インターンシップ
地元研究発表会での発表

62

担当者の入れ替わり
歩調の合わせづらさ

目立つ「弱み」

仕組みが複雑 理解に要時間
仕事の一部分 文化財だけでなく
3年交代 分かったら異動

63

流域連携という互助機能
文化的景観連絡協議会とシマント∞

四万十川財団
(+田中尚人先生)

64

65

5市町連携を支えるベースとしての

互助機能

- ∞ 担当者が一人で抱えない
- ∞ 相談できる関係づくり
- ∞ 行政以外とも関わりを
- ∞ まずは人間関係から

66


5市町 3
担当者+財団+住民+流域外

シマント8

67

流域連携のかたちの模索

価値の掛け合わせ方
相互に助け合う場としくみづくり



68

さいごに

6

69

四万十川の現在

川との関わりが変化

受け入れて利用

↓

少し離れてコントロール

関係の希薄化
新しい関わり方が必要



文化的景観が
できること

70



四万十川流域の
文化的景観
Cultural Landscape of the
Shimanto river basin

文化的景観が
できること

関わる人を増やす
↓
語れる人を増やす
↓
考える人が育つ

